

2 計画事業及び市民活動事業

基本目標 1 地域で子育てを支援するまちづくり

主要課題 1 - 1 情報提供・相談体制の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-1-1 かまくら子育てメディアスポットの充実	子育て中の市民に「子育て支援コンシェルジュ」による子育て支援情報の収集・提供を行います。 また、子育て支援団体や地域活動の情報発信などに協力していきます。 相談件数 663件					こどもみらい課
1-1-2 「かまくら子育てナビきらきら」の発行	妊娠中から就学前までの子どもの子育てに役立つよう子育て支援情報誌を発行します。 16年度 8,000部 21年度 対象者数を考慮して発行 発行部数 8,000部					こどもみらい課 保育課 こども相談課 市民健康課
1-1-3 子育て情報の提供	子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報紙、ホームページ等での確に提供するように努めます。 また、各公立保育園では、季節の子育てや地域と密着した子育て情報を年に数回発行（「汽車ポッポ」「かにっこ」「こしごえ」）して各子育て情報スポットに置いたり、保育園前の掲示板でお知らせしています。 ホームページの活用 「かまくら子育てナビきらきら」を発行 8,000部 ENJOY 鎌倉スポーツNEWS を4回発行 各1,500部					関係各課
1-1-4 各種相談事業の充実及び連携	育児相談、児童相談、教育相談、女性問題相談など、各種相談事業を充実し、各相談窓口と関係機関との連携を図ります。 親子健康相談 2-1-3参照 教育相談 3-2-4参照 「こどもと家庭の相談室」の開設 6-1-4参照 運動体力相談の実施 7回					関係各課
1-1-5 地域子育て相談体制	親たちが子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、子育て支援センター、保育所を活用し、相談体制の充実に努めます。 公立保育園では、地域活動の一環として電話等での育児相談を受け付けています。 相談件数：鎌倉子育て支援センター 2,970件 大船子育て支援センター 3,627件 市立保育園全園で実施					保育課 こども相談課
1-1-6 「こどもと家庭の相談室」の開設（新規）（再掲）	子どもと家庭の福祉に関する第一義的相談窓口として幅広い相談の受付を行います。 相談・通告への対応に当たっては、児童相談所を始めとする関係機関との連携のもとに取り組めます。 6-1-4参照					こども相談課
1-1-7 育児相談及び講演会	幼稚園において、幼児教育に関する各般の問題につき、保護者からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言、その他必要な援助を行います。 16年度 9園 21年度 23園 17年度 22園					私立幼稚園
1-1-8 地域の民生委員児童委員、主任児童委員の活動	地域には厚生労働大臣から委嘱を受けた民生委員児童委員が、市民の立場で子育ての相談、情報提供などの支援を行っています。主任児童委員は、親子で遊べる場、子育ての仲間づくりの場を設けるなど、地域の中の身近な相談相手として活動しています。 地区民生委員児童委員協議会 10地区 217人 毎月定例会を開催し、子どもに関することを検討しました。 主任児童委員連絡会 10地区 20人 毎月連絡会を開催し、子どもに関することを検討しました。 子育てサロン 自然と遊ぼう - 50人					鎌倉市民生委員児童委員協議会

主要課題 1 - 2 地域における子育て支援サービスの充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-1 子ども会館	地域の子どもに健全な遊び場を提供し、心身の健やかな育成を図ります。 16年度 13か所 21年度 14か所 年間児童利用者数 162,487人					こどもみらい課
1-2-2 子どもの家	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後に、子どもの家を利用して、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。 16年度 15か所 21年度 16か所 詳しくは16ページ特定14事業の14-6を参照					こどもみらい課
1-2-3 障害児のための子どもの家の受入れ	ノーマライゼーションの観点から、障害のある児童の子どもの家受入れについて環境を整えます。 受入施設数 8施設 受入れ人数19人					こどもみらい課
1-2-4 公立保育所の拠点化	公立保育所は、市内5地域に1園ずつ地域の子育て支援の拠点保育所とし、それ以外の3園について民営化に取り組みます。 16年度 公立8園 21年度 拠点園5か所 鎌倉市立保育園の民営化計画(素案)を作成し、保護者に対し説明会を行いました。(全保護者対象1回、山崎保育園2回、材木座保育園1回、稲瀬川保育園1回、寺分保育園1回実施)また、保護者が参加する民営化等検討委員会を設置し、民営化先行市を視察しました。					保育課
1-2-5 子育て支援センターの充実	子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や、育児相談に応じます。フリースペースの子育てひろばも設置します。 16年度 2か所 21年度 3か所 詳しくは17ページ特定14事業の14-13を参照					こども相談課
1-2-6 保育園における地域育児センター活動の拡大	多様化する子育てニーズに対応するため、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て家庭を総合的に支援する地域育児センター活動の拡大を図ります。 地域活動を通して、子どもの遊び空間を提供しました。また、親子のふれあい遊び体験、食育情報提供、育児相談等活動内容の充実と拡大に努めました。					保育課
1-2-7 つどいの広場事業	主に乳幼児(特に0~3歳)を持つ子育て中の親子の交流、つどいの場を提供します。 16年度 0か所 21年度 1か所 詳しくは17ページ特定14事業の14-14を参照					保育課
1-2-8 保育施設の整備・活用	保育の安全確保及び市民ニーズの多様化に対応するため、老朽化した保育施設の改築等の整備を図ります。認定保育施設(無認可)の施設整備と認可化に向けて支援します。 また、既存施設の有効利用と改築に合わせ、保育スペースの確保を図ります。 平成16、17年度2か年計画で、たんぼ共同保育園の認可化に向けて施設整備について補助をしました。 山崎保育園の倉庫を改修して一時保育室を確保し、事業を実施しました。					保育課
1-2-9 市主催事業における託児サービス	乳幼児のいる親が、市の主催する事業へ参加できるよう、一時保育等の託児サービスを推進します。 4回実施 また、庁内各課へも呼びかけ、託児サービスの配置を推進しました。 18年度、一層の推進のため新たに予算措置を行いました。					人権・男女共同参画課
1-2-10 ファミリーサポートセンター	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が、育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリーサポートセンター事業を推進します。 16年度 1か所 21年度 1か所 詳しくは17ページ特定14事業の14-12を参照					こども相談課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-11 在宅子育て家庭 訪問支援事業 (新規)	<p>ファミリーサポートセンターの活動内容に家事支援（掃除、洗濯、食事づくり等）を追加します。利用者のうち次の対象者に利用料の一部を助成します。</p> <p>対象者 妊娠（母子健康手帳交付）中から就学前の子ども（保育園・幼稚園に通園していない）を養育している家庭 同一世帯の家族が病気になり、家事支援が必要な家庭 平成17年7月1日から事業開始 活動件数 428件</p>					こども相談課
1-2-12 空き店舗を活用 した保育サー ビス等提供施設の 促進	<p>商店街の賑わいの創出・活性化及び保育サービス等の提供の促進を図るため、空き店舗を活用したコミュニティ施設の設置時に要する改装費・賃借料等の支援を図ります。</p> <p>補助金交付要綱の制定に向け検討しました。</p>					産業振興課
1-2-13 一時保育	<p>保護者の病気等により、一時的に保育が必要な場合に対応できるよう、一時保育の充実を図ります。</p> <p>16年度 5か所 21年度 9か所 詳しくは16ページ特定14事業の14-10を参照</p>					保育課
1-2-14 病後児保育 (施設型)	<p>病気回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。</p> <p>16年度 0か所 21年度 1か所 詳しくは16ページ特定14事業の14-8を参照</p>					保育課
1-2-15 家庭保育福祉員 制度の充実	<p>低年齢児の保育需要に対応するため、保育の経験や技能を有する人が保育を行う制度の拡充を図ります。</p>					保育課
1-2-16 短期入所生活援 助（ショートス テイ）事業	<p>児童を養育している家庭の保護者が疾病等の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合などに、児童養護施設等で一時的に養育・保護します。</p> <p>16年度から実施 詳しくは16ページ特定14事業の14-9を参照</p>					こども相談課
1-2-17 夜間養護等（ト ワイルight）事 業	<p>保護者が仕事等の理由により、平日の夜間又は休日に不在となり、家庭で児童を養育することが困難になった場合などに、児童を児童養護施設等で保護し、生活指導、食事の提供等を行います。</p> <p>詳しくは15ページ特定14事業の14-4を参照</p>					こども相談課
1-2-18 特定保育事業	<p>保護者の就労形態の多様化に伴い、週2、3日程度、または、午前か午後のみ、必要に応じて、一定の日数や時間行う保育を推進します。</p> <p>16年度 0か所 21年度 15か所(14人) 詳しくは16ページ特定14事業の14-11を参照</p>					保育課
1-2-19 多世代交流地域 共同拠点の創設 (新規)	<p>地域資源の活用等により一般家庭の開放も含め、多世代が交流しあえる地域の拠点づくりを支援します。</p> <p>場所等の検討を、関係課の連携を図りながら、調査研究しました。</p>					福祉政策課 こどもみらい課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-20 地域開放	幼稚園の園庭・園舎を開放し、子育て相談や未就園児の親子登園等を推進することや各種の子育て支援サービスを行います。 16年度 15園 21年度 23園 17年度 21園					私立幼稚園
1-2-21 幼稚園における学童保育	放課後児童の健全育成に関して、幼稚園も地域の社会資源の積極的な活用を検討しつつ、対策が必要な児童のすべてを受け入れる体制の整備を目指した事業に取り組んでいきます。 16年度 0園 21年度 10園 17年度 0園					私立幼稚園
1-2-22 乳幼児親子の会	親子一緒にゆったりした気持ちになり、新しい交流や支え合い、情報交換の場を提供しています。 お母さん方と一緒にプログラムを作り活動しています。 リズム体操、工作、紙芝居、指人形 人形劇の会、クリスマス会 リズム体操 24回、人形劇 5～6回、工作 20回、クリスマス会 1回 紙芝居 18回、卒業式 1回 親子 15組 手伝いボランティア 2～3人					ひよこの会
1-2-23 青空自主保育	子どもが自然の中で遊びのびと遊ぶことを目的に、保育者と当番の親が引率して鎌倉の海や山に出かけています。 あひる組(2歳児) } 毎週(火)(金) どんぐり組(3歳児) } どろんこ組(4歳児) 毎週(火)(木)(金) 週3日毎週実施しました。					にこにこ会 (就園前の子どもを持つ親)
1-2-24 青空自主保育	鎌倉の豊かな自然の中で、子育て親育ちができるような環境を作りたいと願う親たちによる、野外活動を主とした青空幼稚園です。 週4日毎週実施しました。					やんちゃお(5、6歳児の親)
1-2-25 地域の中での子育て支援事業	子ども好きのスタッフが、頑張るママたちを支援しています。 保育サポート活動(随時) 母親のレスパイトのために 講習会・講演会の開催(年3～4回) 子育て中の母親を対象に 子育て支援者のための勉強会の開催(年6～12回) 支援者をバックアップ コンサートの開催(年1回) ママのリフレッシュのために 平成17年度事業実績 保育関連事業 対個人、対グループの有償保育 行政等のボランティア保育(市民健康課、教育委員会、障がい児並びにその家族支援) 講座・研修関連事業 セミナー 4回 研修・施設見学 8回 ネットワーク事業 おーぷんるーむ 月1回 オープンコム 毎週1回 ワークショップ 年4回 情報提供・交換(ホームページ公開、子育て支援団体関連のネットワーク参加) 協働 内閣府、神奈川県、鎌倉市、相模原市、葉山町、鎌倉市社会福祉協議会、かながわ女性会議、企業との懇談会等への参加等。 平成18年度事業予定 保育関連事業 講座・研修関連事業 ネットワーク事業					NPO 法人 かまくらキッズ・ママ

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-26 子育て支援行事等の開催	<p>子育て中の母親のリフレッシュや交流を図り、自分を見つめ直す機会としての講座を企画・運営しています。年3回。</p> <p>「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに日頃、触れる機会のない工具や火などを使って遊びます。常設の「冒険遊び場」を目指しています。年5回。</p> <p>かまくらママ'Sカレッジの開催 年3回 一日冒険遊び場の開催 年7回</p>					かまくら子育て支援グループ懇談会
1-2-27 ミニママカレ	<p>グループ内外から講師を募り、育児サークルとして料理やアロマ、ベビーマッサージなどの講座を開催します。年6回。</p> <p>親子ミニコンサート 親子50組 潮干狩り 10組 ガーデニング、寄せ植え講座 15組 アロマローション作り 11組 絵本の読み聞かせのコツ講座 11組 ヨガ&ストレッチ 20組 フラワーアレンジメント&ランチ 14組</p>					かまくらままれ〜ど
1-2-28 子育てサロン	<p>児童の健全育成のために、主任児童委員が中心となり、未就学児を対象に小地域でサロン活動を行っています。</p> <p>第一地区…二階堂子育てサロン (年9回) 第二地区…大町こぐまの会 (年21回) 第三地区…ベビーちゃんの会 (年20回) 第三地区…つくしっ子 (18新規) 第四地区 } ぼっけ (年22回) 第十地区 } 第五地区 } 第六地区 } 深沢キッズネット (年9回) 第七地区…子ぶくろ家 (年12回) 第八地区…のびのび子育て (年10回) 第九地区…ママと赤ちゃんのたまりば (年13回)</p>					<p>地区社会福祉協議会</p> <p>地区民生委員児童委員協議会</p>

主要課題 1 - 3 保育サービスの充実と多様化

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-3-1 延長・夜間保育	<p>就労形態の多様化や、勤務時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。</p> <p>午後 7 時まで 16年度 15か所 21年度 17か所 午後 8 時まで 16年度 2か所 21年度 5か所</p> <p>詳しくは 15 ページ特定 14 事業の 14-2、14-3 を参照</p>					保育課
1-3-2 休日保育	<p>女性の就労形態の多様化による様々な保育ニーズに対応するため、休日保育を実施します。</p> <p>16年度 0か所 21年度 2か所</p> <p>詳しくは 15 ページ特定 14 事業の 14-5 を参照</p>					保育課
1-3-3 低年齢児保育産 休明け保育	<p>産後休暇明け・育児休業明けでの乳児保育の需要に応えるため、低年齢児保育受入れの拡大に努めます。</p> <p>16年度 6か月から 21年度 2か月から <i>低年齢児保育プロジェクトにより準備を始め、18年度途中から随時実施予定</i></p>					保育課
1-3-4 統合保育 (障害児保育)	<p>障害のある子どもの発達の状態に応じて、保育園での集団生活の中で、お互いの理解を深め協力しながらともに育っていけるよう、統合保育の推進に努めます。</p> <p><i>就労している保護者の障害のある子どもを受け入れました。 3園 3人</i></p>					保育課
1-3-5 保育園児の健康 管理	<p>保育園児の健全な身体の育成のために、定期的に身体測定・健康診断等を行い、発育・発達の状況を把握し、健康増進に努めます。</p> <p><i>定期的に身体測定・健康診断等を実施しました。 保健衛生担当嘱託員を委嘱し、各園を巡回して乳幼児の保健指導及び相談を実施しました。</i></p>					保育課
1-3-6 送迎保育ステ ーション事業 (新規)	<p>待機児童対策の一環として、駅を中心とした送迎保育と、これと併せた一時保育・延長保育の実施を検討します。</p> <p>検討</p>					保育課
1-3-7 保育サービス評 価(新規)	<p>保育所の提供するサービスについて、自己評価に加えて、利用者の認識・把握と第三者機関による評価の実施を検討します。私立保育所についても取組を要請していきます。</p> <p>検討</p>					保育課
1-3-8 預かり保育	<p>幼稚園に就園している幼児につき、当該幼稚園において、教育課程に係る教育時間の終了後に教育活動を行います。</p> <p>16年度 20園 21年度 20園 17年度 21園</p>					私立幼稚園
1-3-9 幼稚園児の健康 管理	<p>幼稚園児の健全な身体の育成のために、定期健康診断及び尿・ギョウ虫検査等を実施します。</p> <p>16年度 23園 21年度 23園 17年度 23園</p>					私立幼稚園

主要課題 1 - 4 子育て支援のネットワークづくり

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
14-1 ネットワークの 促進	<p>子ども関連のすべての機関・団体が、子どもの健全育成に向けて、より一層連携を強化して行動できるよう協働関係を促進します。</p> <p><i>地域や学術機関と連携を持った子育て支援について検討しました。</i></p>					こどもみらい課 保育課
14-2 「かまくら子育てナビきらきら」 の発行（再掲）	<p>妊娠中から就学前までの子どもの子育てに役立つよう子育て支援情報誌を発行します。</p> <p>16年度 8,000部 21年度 対象者数を考慮して発行 <i>1-1-2参照</i></p>					こどもみらい課 保育課 こども相談課 市民健康課
14-3 地域福祉活動	<p>保育園、社会福祉協議会、主任児童委員や育児ボランティア等との連携により、地域の会館等を活用し、身近な小グループで地域の子育ての充実を図ります。</p> <p><i>未実施</i></p>					保育課 市民健康課



主要課題 1 - 5 経済的支援の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-5-1 私立幼稚園等就園奨励費補助金の交付(実)	入園料及び保育料の減免を行う私立幼稚園等の設置者に対して、補助金を交付します。 奨励費交付対象園児数 2,746人					こどもみらい課
1-5-2 ひとり親家庭の家賃の助成	ひとり親家庭に家賃の一部を助成することにより、その生活の安定と自立の支援を行います。 対象世帯数 482件					こども相談課
1-5-3 小児医療費助成	0歳～就学前の児童の通院と、0歳～中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 平成17年度から、小学校入学前までの所得制限を撤廃しました。 対象者数 8,822人 平成18年10月 通院対象を小学3年生まで拡大予定(所得制限あり)					保険年金課
1-5-4 ひとり親家庭の医療費の助成	18歳に達した後の最初の3月31日までの児童と、その養育者の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 対象者数 1,535人					保険年金課
1-5-5 障害者医療費助成	一定程度以上の障害がある障害者の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 対象者数 3,812人					保険年金課
1-5-6 就学援助事業	経済的な理由により就学困難な市立小中学校の児童生徒の保護者に対して、学用品、学校給食費等の一部を援助します。 小学校 653人 中学校 275人 合計 928人 また、市立小中学校の特殊学級に就学している児童生徒の保護者に対して学用品、学校給食費等を援助します。 小学校 38人 中学校 26人 合計 64人					学務課
1-5-7 奨学金給付事業	経済的な理由により、高等学校等への修学が困難な者の保護者等に対して奨学金を給付します。 給付人数 162人					学務課
1-5-8 児童手当	児童手当法に基づき手当を支給します。 延べ支給対象児童数 84,143人 <手当額> 第1・2子 5,000円 第3子 10,000円					こども相談課
1-5-9 児童扶養手当	児童扶養手当法に基づき、母子家庭等に手当を支給します。 対象受給者数 584人 <手当額> 全部支給 41,880円 } 2人目加算 5,000円 一部支給 41,870円～9,880円 } 3人目加算 3,000円					こども相談課
1-5-10 特別児童扶養手当	特別児童扶養手当法に基づき、一定の障害のある児童(20歳未満)の父又は母若しくは養育者に手当を支給します。 市は手続のみ 県が支給 受給権者数 128人(平成18年4月末現在)					こども相談課
1-5-11 ひとり親家庭等児童の大学進学支度金	ひとり親家庭等の子どもが大学等に進学するに当たり、支度金を交付します。 交付人数 14人(大学14人 短大0人)					こども相談課
1-5-12 遺児卒業祝金贈呈	遺児が中学校を卒業するに当たり、その保護者に卒業祝金を交付します。 交付人数 13人					こども相談課

基本目標 2 子どもと親が健康に暮らせるまちづくり

主要課題 2 - 1 子どもと親の健康の確保

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-1-1 親子健康教育	<p>妊産婦、乳幼児の健康を保持増進できるように支援を行います。</p> <p>母子健康手帳の交付 1,354冊 (妊娠届によるもの) 両親教室 12コース38回 559人 延べ1,255人参加 離乳食教室 7回 159人参加 6か月児育児教室 48回 956人参加 1歳児歯科育児教室 24回 838人参加 育児講演会 4回 375人参加 思春期講演会 2回 63人参加 赤ちゃんの衣・食・住をテーマにした消費生活移動教室 1回15人参加</p>					市民健康課 市民活動課
2-1-2 妊婦及び乳幼児健康診査	<p>定期健康診査により、妊婦や乳幼児の健康の保持・増進を図るとともに発達問題等の早期発見と予防に努めます。 また、子育て情報の提供により、育児中の親の孤立化を防ぎます。</p> <p>妊婦健康診査 1回目・2回目計2,400件 乳児健康診査 4か月児健康診査 1,147人 お誕生日前健康診査 1,124人 1歳6か月児健康診査 1,056人 3歳児健康診査 1,114人 幼児歯科健康診査 2歳児歯科健康診査 848人 精密健康診査 40件</p>					市民健康課
2-1-3 親子健康相談	<p>育児、栄養、運動、歯など、健康なライフスタイルの確立と親子への支援を図るため、いつでも気軽に相談できる体制づくりに努めます。</p> <p>乳幼児健康相談 91回 2,013人 電話相談 1,966人 面接相談 2,195人</p>					市民健康課
2-1-4 家庭訪問	<p>家庭訪問によって、妊娠、出産、育児の不安の解消を図り、健康の保持・増進に努めます。 妊産婦、新生児家庭訪問 助産師による訪問 妊婦3人、産婦・新生児451組 乳幼児家庭訪問 465人</p>					市民健康課
2-1-5 予防接種	<p>感染性疾病を未然に予防し、子ども一人ひとりの健やかな成長を図るため、予防接種の適切な実施に努めます。 ポリオ (集団接種) 22会場 BCG・DPT・麻しん・風しん・DT・日本脳炎 (個別接種) 60医療機関</p>					市民健康課
2-1-6 健診後のフォロー 一体づくり	<p>発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイス、及び適切な対応を図ります。</p> <p>発達・栄養・健康・育児・心理相談 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査等で実施しました。 幼児グループ指導 市民健康課、健康診査事後フォロー教室 6グループ 69人参加 障害者福祉課 ひよこグループ 延616人 乳幼児ケース検討</p>					市民健康課 障害者福祉課
2-1-7 不妊相談の周知 (新規)	<p>県で実施している特定不妊治療費助成事業や不妊専門相談センターについて、市民健康課窓口及び健康相談の場等において周知しています。 県が作成したリーフレット等を配布しました。</p>					市民健康課

主要課題 2 - 2 食育の推進

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-2-1 学校における食育の推進	<p>学校の教育活動全体を通して行う健康教育の一環として、児童生徒に食に関する知識を教えるだけでなく、望ましい食習慣の形成に結びつく実践力を育成します。</p> <p>また、家庭や地域と連携し、食生活・栄養に関する正しい知識の普及に努めます。</p> <p><i>給食だよりを発行して食に関する情報を提供しました。</i></p>					学務課
2-2-2 親と子の食生活体験学習の開催（新規）	<p>地域における「食」について食文化面から先駆的に活動している講師（フードコーディネーター）と栄養士等により親子で「食育」を実習体験する講座を開催します。</p> <p><i>ちいさなコックさん集まれ 7回 153人</i></p>					市民健康課
2-2-3 離乳食教室の開催	<p>乳児を持つ親に対する離乳食の進め方の指導や調理実習等を開催します。</p> <p><i>離乳食教室 7回 159人参加</i></p>					市民健康課
2-2-4 栄養相談・栄養指導の実施（新規）	<p>乳幼児だけではなく、家族全体をとらえ、状況に合わせた栄養相談、指導を実施します。</p> <p><i>乳幼児健康診査・育児教室健康相談の中で、栄養相談を行いました。</i></p>					市民健康課
2-2-5 乳幼児健診の場を通じた情報提供	<p>乳幼児健診や育児教室等において、保護者を対象に望ましい食生活に関する資料・情報の提供を行います。</p> <p><i>リーフレット、食事見本などによる情報提供を行いました。</i></p>					市民健康課
2-2-6 保育園における食育の推進（新規）	<p>保育園の食事・行事・日常の保育を通して、健康な心身と良い食習慣を形成します。</p> <p><i>給食委員会を設置し、内容の充実を図りました。（10回実施）</i></p>					保育課
2-2-7 食育事業（エプロンシアター）（新規）	<p>食事の時間や、幼児クラスの保育の中で、季節の食品や身体での役割を話します。</p> <p>子どもたちへ食についての働きかけを保育計画の中に盛り込みます。</p> <p><i>保育の状況に合わせて実施しました。</i></p>					保育課
2-2-8 食生活改善推進員の活動支援	<p>食生活改善推進員を育成し、そのグループ活動を支援します。</p> <p><i>離乳食教室 6回に延べ29人の推進委員が支援しました。</i></p>					市民健康課
2-2-9 親と子の料理教室の開催	<p>食生活改善推進団体を講師に、親子で手づくり料理の実習を行います。</p> <p><i>1回 13人参加</i></p>					市民活動課
2-2-10 「成長・発達にあわせてはたらきかけ」冊子の作成（新規）	<p>保育園における年齢別の食事、保育の問題点をまとめ、各年齢に応じた食事指導、家庭への食についてははたらきかけを明確にします。冊子に沿って、子どもの成長、年齢にふさわしい食事指導を保育の活動と連携しながら行えるようにします。</p> <p>地域交流等を通して、発達に合わせたはたらきかけを伝えていきます。</p> <p><i>「成長・発達にあわせてはたらきかけ」の完成 乳幼児の生活や活動と連携した食のはたらきかけ 平成15年度の保育上での食事面の事例をまとめ、発達上の特徴や、子どもの成長・年齢にふさわしい働きかけ方をまとめています。</i></p>					保育課

主要課題 2 - 3 思春期保健対策の充実と母性・父性の健全育成

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-3-1 思春期相談体制の充実	<p>学童期・思春期における心の問題について、子どもと保護者の相談に的確に対応できるよう、関係機関と連携し相談体制の充実を図ります。</p> <p>中学校へのスクールカウンセラー配置 16年度 7校 21年度 9校 17年度 市立中学校全9校へ配置 教育相談指導員の配置 教育センター相談室 4人 教育支援教室 3人 メンタルフレンド導入 メンタルフレンド登録7人、5ケースに派遣しました。</p>					教育指導課 教育センター
2-3-2 親に対する思春期理解への支援	<p>思春期を迎える子どもを持つ保護者を対象とした専門家による講演会等を開催します。 また、中学校において、生活指導担当教諭等から子どもの思春期について話をします。</p> <p>思春期講演会（幼児期から思春期までの親子関係を考える） 2回 63人参加 新入生保護者説明会、新学年保護者懇談会等 市立中学校全9校で実施</p>					市民健康課 教育指導課
2-3-3 学校における思春期教育の充実	<p>小学校では、体育の保健分野で思春期の体の変化の学習、道徳における指導等、中学校では保健体育科の保健分野で思春期の体の発達や特別活動での心身の健康・安全にかかわる指導等を行っています。 また、喫煙・飲酒・薬物乱用の心身への影響の啓発を行っています。</p> <p>薬物乱用防止教室 市立小学校5校 5回、市立中学校9校 11回</p>					学校教育課
2-3-4 (仮称)思春期心と体の健康づくり連絡会議の開催(新規)	<p>「市民健康づくり庁内連絡協議会」において関係各課における事業や現状・課題について話し合い、健康福祉プランの健康づくり部門として計画案を策定します。</p> <p>市民健康づくり庁内連絡協議会を開催 4回</p>					市民健康課
2-3-5 児童・生徒理解研修会の実施	<p>教員として必要な児童・生徒の理解、教育相談の理論や技法を習得し、教育活動に生かせる実践力の向上を図ります。</p> <p>児童生徒理解研修会 5回 教育相談講師派遣研修会(校内研修への派遣) 小学校14校 中学校2校 訪問相談員等研修会 1回(教職員の希望者)</p>					教育センター

主要課題 2 - 4 小児医療の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2 4 - 1 小児救急医療体制の充実	<p>関係機関との協議による小児救急医療体制を充実します。 また、広域的に小児救急に取り組むとともに、環境整備を図り、小児保健医療水準の維持向上を目指します。</p> <p>初期救急 休日夜間急患診療所 患者数 小児科 1,064人 第二次救急医療 藤沢市民病院 第三次救急医療 県立子ども医療センター及び救急救命センター 継続充実</p>					市民健康課
2 4 - 2 小児医療費助成(再掲)	<p>0歳～就学前の児童の通院と、0歳～中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。</p> <p>1 5 3参照</p>					保険年金課
2 4 - 3 小児緊急医療支援事業(新規)	<p>休日夜間診療所の土・日・休日の夜間には、小児科に対応できる医師を配置します。</p> <p>患者数 小児科 1,064人</p>					市民健康課
2 4 - 4 かかりつけ医の確立(新規)	<p>子ども一人ひとりの様々な健康問題が早期かつ包括的な対応を受けられるよう、保護者(予定者を含む)にかかりつけ医の確立等に関する啓発に努めます。</p> <p>4 か月児健診未受診対応の家庭訪問等で啓発しています。 9月から19件</p>					市民健康課



基本目標 3 子どもが心身ともに健やかに学び育つまちづくり

主要課題 3 - 1 次世代の親の育成

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-1-1 学習情報の収集と提供	<p>市民の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。また、子どもの体験活動・奉仕活動の情報提供・情報相談・コーディネートを行います。</p> <p>生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行 毎月10,000部 年間120,000部発行 子ども情報誌「かまナビ for kids」を発行 年2回(夏・春)各11,000部発行 市内全公立小学校児童・中学校生徒に配付。私立小中学校に掲示。</p>					生涯学習課
3-1-2 性(命)の尊重、男女平等についての啓発	<p>男女が正しく性を理解・尊重しあうこと、お互いが協力して家庭生活・社会生活を築くための支援をします。</p> <p>男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル 21」と協働で、フォーラム「共に生きる未来」を実施しました。 参加者 270人</p>					人権・男女共同参画課
3-1-3 小学生と保育園児・幼稚園児の交流	<p>生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等(運動会、各学校で行われる子どもまつり等)を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。</p> <p>また、就学を控えた園児と同じ地域の小学1年生が、一緒に遊ぶなどの交流活動を行います。</p> <p>各小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。</p>					保育課 教育指導課 教育センター
3-1-4 中学生と保育園児・幼稚園児の交流	<p>市立中学校において中学生が、保育園や幼稚園で「職場体験学習」や家庭科の学習の中で「保育実習」を行います。</p> <p>市立中学校全校で職場体験学習に取り組みました。</p>					保育課 教育指導課
3-1-5 道徳教育の充実	<p>主として他の人とのかかわりに関する事の中で、「男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する」ことについて実践的な態度の育成に努めます。</p> <p>道徳教育はすべての教育活動で行いました。道徳の時間はすべての学校で年間35時間(小学1年生のみ34時間)行いました。</p>					教育指導課
3-1-6 特別活動の充実	<p>学級活動の中で、「男女相互の理解と協力」について実践的な態度の育成に努めます。</p> <p>学級活動は毎日の朝の会や帰りの会、年間35時間(小学1年生のみ34時間)の特別活動、放課後活動の中で行いました。</p>					教育指導課
3-1-7 里山冒険遊び場	<p>谷戸の散策、農作業の手伝い、どろんこの遊び、生き物とのふれあい、草花あそびなど。年齢制限なく、大人から子どもまで一緒になって里山体験をしながら自然に親しんでもらいます。主に会員を対象としていますが、一日里山冒険遊び場として自由参加の日も設けています。</p> <p>16年度 年10回 21年度 年12回 一日里山冒険遊び場 1回 50人 里山冒険遊び場 文部科学省委託事業「地域子ども活動教室推進事業」 20回 171人 里山を味わおう・里山探検隊 11回 73人</p>					鎌倉中央公園を 育てる市民の会

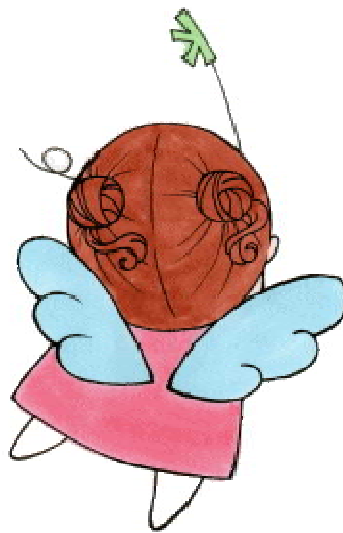
主要課題 3 - 2 学校の教育環境の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-2-1 環境教育の推進	環境と人間とのかかわりを学び、恵み豊かな環境やいのちを大切にすることを育む環境教育の充実に努めます。 環境出前講座の実施 14件					環境政策課
3-2-2 学校評議員制度	各学校が保護者や地域の方々の意見を広く聴き、地域に開かれた、また信頼される学校づくりを推進します。 16年度 設置率 100% 17年度 設置率 100%					教育指導課
3-2-3 世代間交流	総合的な学習の時間等で、地域の保育園、幼稚園、障害者施設、老人ホーム等へ訪問し交流を深めます。また、地域のお年寄りを学校に講師として招いて知識、経験を子どもたちに伝えています。 市立小中学校で実施しました。 保育園では小学校、障害児施設や老人ホームなどを訪問し、交流を深めます。また、地域のお年寄りを招いての交流を図っています。 保育園において、地域の中学校からの総合的学習や職場体験で1～3日受け入れました。また、小学校を訪問するなどの交流を深めました。 グループホームや地域のお年寄りと遊びや行事による交流を図りました。					教育指導課 保育課
3-2-4 教育相談事業の充実	教育センター相談室において、乳児から青少年の相談並びにいじめ・不登校等の教育相談を行います。 不登校児童・生徒のために、教育支援教室「ひだまり」を設置し、学校への復帰に向けた支援を行います。 21年度 専任教員の増員 教育センター相談室 新規相談件数 275件 教育支援教室「ひだまり」 通室児童生徒数 25人					教育センター
3-2-5 幼児教育に関する研究・研修	幼児教育の目的に応じた適切な指導及び幼児期から心の教育が行われるよう、その研究・研修活動支援の一層の充実に図ります。 幼児教育研究会 幼稚園・保育園・小学校の職員で研究会を構成し、テーマをもって実践的な研究に取り組み、研究の成果を「幼児教育」にまとめました。 幼児教育研修会（平成21年対象者保護者へ拡大） 講演会については保護者へも拡大しました。 幼児教育研究協議会 幼稚園・保育園・小学校の職員が集まり、協議会を開催 1回 239人参加 幼保小連携研修会 幼稚園・保育園の各1園と小学校1校の3か所で公開授業を行いました。 幼保小交流事業（平成21年内容の充実発展） 市立小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流授業の推進に努めました。					教育センター
3-2-6 心の教育の推進・道徳教育の充実	生命を大切に、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心を育てる教育を推進するため、道徳教育の充実に努めます。 また、道徳教育の推進のための資料集を作成します。 市立小中学校全教員に配布する「地域を題材にした道徳資料集」を作成中。					教育指導課 教育センター
3-2-7 国際社会への対応	外国人英語教師（ALT）を小学校にも派遣することにより、国際理解教育の充実に図ります。 4人の外国人英語教師（ALT）で年間145日、524時間小学校へ派遣しました。1クラス当たり平均2～3時間。					教育指導課
3-2-8 情報化社会への対応	各教室でインターネット等が利用できるよう、校内LANの整備を進めるとともに、ITを活用した施策の充実に努めます。 小中学校教員を対象にしたコンピュータ研修会を4回、コンピュータ授業活用研修を3回実施しました。 小学校校内LAN設置済					教育指導課 教育センター

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-2-9 小学生と保育園児・幼稚園児の交流（再掲）	生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等（運動会、各学校で行われる子どもまつり等）を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。 また、就学を控えた園児と同じ地域の小学校1年生が、一緒に遊ぶなどの交流活動を行います。 3-1-3参照					保育課 教育指導課 教育センター
3-2-10 中学生と保育園児・幼稚園児の交流（再掲）	市立中学校において中学生が、保育園や幼稚園で「職場体験学習」や家庭科の学習の中で「保育実習」を行います。 3-1-4参照					保育課 教育指導課
3-2-11 各種育成行事	子どもの健康維持・増進を図るため、各種の大会や教室を開催します。 また、子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、活動成果を発表する場の提供に努めます。 小学校陸上記録大会 市内国立・市立小学校6年生 1,224人 かまくら砂工作の会 市内市立小学4年生 1,126人 演劇等鑑賞会 市内市立小学校16校で実施 小学校音楽会 市内国立・市立小学校17校で実施 鎌倉駅地下道ギャラリー'50展示 市内国立・市立小・中学校15校 小学校児童作品展 市内国立・市立小学校17校 書写、図工 入場者総数4,294人 中学校音楽会 市内国立・市立中学校10校 中学校生徒美術展 市内国立・市立中学校10校 中学校演劇発表会 市内市立中学校4校（延8校） 中学校総合体育大会 市内市立中学校9校、国立1校、私立6校					教育指導課
3-2-12 各種育成事業	子どもたちの心豊かな育成に向けて、地域社会全体が協働して取り組む活動を支えます。 子ども会への支援 運営費補助 54団体 子ども写生大会 1回 262人 親子リトミック教室 12回 1,476人 演奏会 2回 12月 720人参加、3月 462人参加 子どもセンター事業 「かまナビ for kids」 2回発行 青少年会館事業 延633回 9,591人 おはなし会 49回 471人 おひざにだっこのおはなしかい 31回 528人 一日図書館員 7回 34人 おや子体操教室 20回 714人					生涯学習課 青少年課 中央図書館 スポーツ課
3-2-13 安全で快適な学校教育環境の整備	学校施設整備計画「改訂版」の内容に沿った事業を推進します。 耐震補強工事 校舎改築事業 プール建設事業 トイレ改修事業 富士塚小学校耐震補強工事1棟実施					学校施設課
3-2-14 体験学習の推進	福祉や環境問題などについて、実際の体験を通じて学習するため、総合的な学習の時間等を使って、校外活動等を実施します。 市立小中学校全校で取り組みました。					教育指導課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-2-15 かまくら子ども議会の開催	子どもたちが、市議会の模擬体験を通じて、市民生活と行政との関わりや、鎌倉市が直面するさまざまな課題について考えるとともに、自らの言葉で市長等と質疑応答を行うことにより、議会制民主主義への理解を深めながら地方自治の仕組みについて学習することを目的として開催します。 17年度は小学校対象。市内国立・市立小学校17校から各2人、計34人参加					教育指導課
3-2-16 個に応じた指導の充実	少人数指導やチーム・ティーチングなどを実施し、児童生徒一人ひとりの興味・関心、習熟の程度等に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。 少人数指導用机・椅子・ストーブを購入するなど、施設整備を図りました。					教育指導課
3-2-17 読書活動の推進	朝のホームルームの時間等を活用して読書活動に取り組みます。 また、「読書活動推進嘱託員」を小中学校へ派遣するなど、児童生徒の読書活動の推進を図ります。 市立小中学校25校へ8名派遣しました。 各小学校 月4日 各中学校 月3日					教育指導課
3-2-18 各種補助員・介助員の派遣	水泳、運動部活動、日本語指導等専門性の高い分野や、障害児学級・普通学級に在籍する児童生徒の介助など、児童生徒の教育活動が円滑に進められるための各種補助員・介助員を派遣します。 水泳補助指導員 9人 (65単位時間派遣) 日本語指導等協力者 3人 3校に派遣 普通学級介助員 13人 9校に派遣 障害児学級介助嘱託員等 14人 6校 通常学級への介助嘱託員等 5人 4校					教育指導課
3-2-19 ごみの発生抑制及び減量化、資源化啓発事業	市内保育園や小中学校の児童生徒を対象にごみの発生抑制及び減量化、資源化のための啓発を行い、児童生徒はもとより、父母、家族までその意識を広める事業を行います。 保育園児への環境教育 2園 63人 小学校4年生への環境教育 15校 988人 小中学校の児童生徒へ夏休み実験レポート募集 レポート提出者数 小学校 17校 246人 中学校 14校 444人					資源循環課
3-2-20 親子景観セミナーの開催	将来の鎌倉のまちづくり、景観づくりの担い手となる子どもたちとその保護者を対象に、鎌倉らしい景観をつくり出している風景や建物等を講師の説明を聞きながら見学します。 まちづくりシンポジウムを実施しました。 西御門・二階堂・雪ノ下地区16人参加 由比ガ浜通り地区16名参加					都市景観課
3-2-21 「市長への手紙(子ども版)」の設置(新規)	子どもの夢や希望を市政に生かすことを目的に、「市長への手紙(子ども版)」を市立小中学校、子ども会館、子どもの家及び青少年会館に設置します。 平成17年4月5日設置 投書件数 47件					市政情報相談課 こどもみらい課 教育指導課 青少年課
3-2-22 幼児教育の振興	幼児教育の振興並びに充実のため、幼児教育についての情報提供を進め、幼児期の成長の様子や大人の関わり方について保護者や地域住民等の理解を深める事業を行います。 16年度 17園 21年度 23園 17年度 22園					私立幼稚園

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-2-23 幼稚園の安全対策	<p>幼稚園において園児が安心して教育を受けることができるよう、各幼稚園が安全管理システムの整備並びに家庭や地域の関係機関・団体と連携し安全な施設の整備事業を行います。</p> <p>16年度 6園 21年度 23園 17年度 8園</p>					私立幼稚園
3-2-24 里山体験学習	<p>小中学校の総合的な学習として受け入れ、年間通して農作業、谷戸保全作業、自然観察を指導します。また、単発的な谷戸保全作業体験をグループ・クラス・学年単位などで受け入れます。</p> <p>16年度 年35回 21年度 年35回</p> <p>深沢小学校6年 「昔ながらの畑」全9回 111人 深沢小学校5年 「谷戸田の米づくり」全9回 108人 腰越小学校5年 「谷戸田の米づくり」全4回 90人 御成中学校1年 「谷戸保全作業」 140人 玉縄中学校1年 「谷戸保全作業」 100人 藤沢市羽鳥中学校2年 「谷戸保全作業」 藤沢市村岡中学校2年 「谷戸保全作業」</p>					鎌倉中央公園を 育てる市民の会



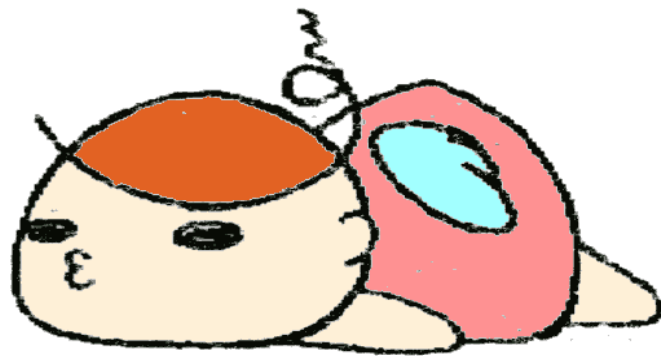
主要課題 3 - 3 家庭や地域の教育力の向上

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-3-1 ブックスタート 事業（新規）	6 か月育児児教室において、絵本を贈呈し、絵本の読み方や聞かせ方などのアドバイスを行います。 対象は、平成17年1月以降生まれの子どもを持つ家庭 平成17年7月開始 751組					中央図書館
3-3-2 子育て支援センターの充実（再掲）	子育て家庭に対してアドバイザーが育児相談に応じます。また、子育ての情報提供や子育てサークルの育成支援を行います。 16年度 2 か所 21年度 3 か所 1-2-5参照 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">詳しくは17ページ特定14事業の14-13を参照</div>					こども相談課
3-3-3 生涯学習施設の提供	学校学習施設の提供や市内の企業等が保有する施設などの利用について、調査・検討します。					生涯学習課
3-3-4 育児教室	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身に付けられるよう、専門の講師による講座等を開催します。 また、育児経験に乏しい親たちの、育児への不安や悩みを解消するため、子育て教室・講座の開設に努めます。 育児講演会 4回 213人の親が参加（うち父親68人） 育児教室 6か月育児児教室 48回 保護者数 956人参加（うち父親32人） 1歳児歯科育児教室 24回 保護者数 858人参加（うち父親19人）					市民健康課
3-3-5 両親学級	妊娠及び出産後の母体の保護・日常生活の注意・育児の楽しさを一緒に学習します。 両親教室 12コース38回 559人（うち父親198人） 延べ1,255人参加（うち父親279人）					市民健康課
3-3-6 地域での子どもの参画活動	子育て中の親子が共に集える遊び場や「親子で楽しめるもの」、「親自身のリフレッシュとなるもの」、「子育てに役立つもの」の講座等を開催します。 各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図られるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。 子育て支援イベント 一日冒険遊び場 7回、講座 3回 スポーツ大会 「スポーツチャンバラ」56名参加 凧上げ大会 213名参加					こどもみらい課 青少年課
3-3-7 子どものスポーツの育成	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間づくりのため、関係団体等の支援を図ります。 各種目別市民スポーツ行事を開催しました。					スポーツ課
3-3-8 子ども会館・子どもの家における健全育成	地域社会の中で、児童の遊び場の拠点として、異年齢集団での遊びや仲間づくりのための居場所づくりに努めます。 年間児童利用者数 162,487人					こどもみらい課
3-3-9 学校開放の推進	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校体育施設の開放を進めていきます。 16年度 25校 21年度 25校 17年度 25校					スポーツ課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-3-10 青少年指導者の育成支援	<p>子どもの地域活動を支える青少年指導者の活動を支援します。</p> <p>鎌倉市青少年指導員の活動支援、研修会等の補助をしました。</p>					青少年課
3-3-11 青少年活動のリーダー講習会	<p>集団活動や野外活動における基本的な知識と技術を身に付け、地域における青少年活動のリーダーとなれる人材を育成するため、講習会を実施します。</p> <p>リーダー研修会 第1回宿泊研修 77名参加 第2回デイキャンプ 73名参加</p>					青少年課
3-3-12 若者たちが育ち合う場の創設	<p>若者たちが気軽に相談でき、育ち合い、自主運営を目指せる場づくりを進めます。</p>					関係各課
3-3-13 学習情報の収集と提供（再掲）	<p>市民の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。また、子どもの体験活動・奉仕活動の情報提供・情報相談・コーディネートを行います。</p> <p>生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行 こども情報誌「かまナビ for kids」を発行 3-1-1参照</p>					生涯学習課
3-3-14 家庭・地域の教育力活性化事業	<p>小中学生の保護者を対象に家庭・地域教育力の向上を目指し、講演会やワークショップ等を実施します。</p> <p>CAP保護者向けワークショップ 1回 22人 家庭・地域の教育力活性化セミナー 4回 269人</p>					生涯学習課
3-3-15 各種育成事業（再掲）	<p>子どもたちの心豊かな育成に向けて、地域社会全体が協働して取り組む活動を支えます。</p> <p>子ども会への支援 子ども写生大会 親子リトミック教室 演奏会 子どもセンター事業 青少年会館事業 おはなし会 おひざにだっこのおはなしかい 1日図書館員 おや子体操教室</p> <p>3-2-12参照</p>					生涯学習課 青少年課 中央図書館 スポーツ課
3-3-16 総合型地域スポーツクラブの育成	<p>地域におけるコミュニケーションを深め、地域で子どもの健全なからだところをつくる、スポーツ環境の充実を図ります。</p> <p>設立団体1、準備団体1のクラブを育成しました。</p>					スポーツ課
3-3-17 保育園の地域活動	<p>保育園の園庭開放や行事参加など地域の子育てを支援する地域活動を進めます。</p> <p>公立保育園全園で年10回程度実施しました。やき芋会、観劇等行事への参加や、地域育児センター事業（世代間交流事業等）の充実に努めました。</p>					保育課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-3-18 青少年健全育成活動	青少年の健全育成のため、各地域での次のような事業を実施しています。 チャレンジ広場（体育館であそぼう） 60名 ストーリーテリング 50名 ホタルを見る会 200名 デイキャンプ・サマーキャンプ 80名 中央公園合同ハイキング 60名 ふれあい広場 各地域で実施 子ども映画会 1回開催 広町ハイキング 腰越地域で実施 今後も継続して実施します。					鎌倉市青少年指導員連絡協議会
3-3-19 家庭と地域の教育力活性化セミナー	近年低下していると言われる家庭と地域の教育力を高めるために、様々なテーマ（CAP、生命の大切さ、軽度発達障害への理解、絵本に親しむ、子どもの安全を守る等々）で講演会や講習会を開催しています。 市の広報紙などを通じて一般の参加も呼びかけています。 16年度 5回開催 21年度 同水準を予定 17年度 5回開催					鎌倉市PTA連絡協議会
3-3-20 鎌倉てらこや事業	ビジョン 地域の子どもたちが主体的に生き、活動できる拠点をつくり、成熟した地域社会を創造する 子どもたちの魂を輝かせるために、自然、歴史、伝統、文化、宗教的な環境の下で、遊び、学び合い、感動体験を培う。 親たちは、子どもとともに学び、自らを育み、自立したよき大人に生まれ変わることを目指す。 対象 ：地域の子どもとその親 特徴 三世代による実行委員会形式の運営（大学生・JC・大人） 鎌倉の特性を生かした活動（神社仏閣・文化施設との連携） 寄付金・参加費・助成金による運営 山・川・海・森林などでの自然体験 神社・お寺・教会などでの生活体験 囲碁・将棋・茶道・華道・書道・武道の伝統的道シリーズ体験 能・舞踊・陶芸などの伝統芸術体験 音楽・絵画・演劇・朗読などの芸術体験 講演会・体験議会などの知識体験 農業・畜産・料理などの自給自足体験 河川浄化などのエコロジー体験 16年度 年6回 21年度 年12回 17年度事業実績 「土と遊ぼう」(陶芸事業) 年12回 300名 「色でおしゃべり」(絵画事業) 年4回 80名 「やぐら体験」(巡る事業) 年2回 40名 「合唱」 年40回 200名 「田んぼ」(稲作事業) 年4回 80名 「宿泊体験合宿」(合宿事業) 年2回 12校 110名 「ホタル育成事業」年2回 12校 230名(市内小中学校・幼稚園) 「野散の大学」(親の勉強交流集会) 年6回 150名 18年度事業予定 「土と遊ぼう」(陶芸事業) 年12回 「色でおしゃべり」(絵画事業) 年9回 「鎌倉を巡る事業」 年5回 「田んぼ」(稲作事業) 年7回 「宿泊体験合宿」(合宿事業) 年2回 「ホタル育成事業」 年1回 「野散の大学」(親の勉強交流集会) 年6回 「朗読事業」 年6回					鎌倉てらこや実行委員会

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-3-21 一日深沢プレーパーク	<p>子どもたちの健全育成と地域の大人たちの交流を目的とした「冒険遊び場」活動を行います。</p> <p>冒険遊び場 年10回開催 常設が目標。 「かじわらあそび基地」を10回開催</p>					鎌倉あそび塾
3-3-22 青少年の体験学習活動	<p>青少年の福祉に対する理解と福祉意識の向上のために、中学生以上の青少年を対象に福祉施設の体験を実施しています。体験で学ぶ「福祉の心」「ボランティア精神」を培います。</p> <p>体験学習活動の実施 年1回 平成17年7月に実施。参加者数 27名</p>					鎌倉市社会福祉協議会
3-3-23 助成事業	<p>児童の健全育成のために、小学生を対象としたスポーツ団体に助成金を交付しています。</p> <p>助成事業 年1回 サッカー協会、野球協会に助成</p>					鎌倉市社会福祉協議会



主要課題 3 - 4 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
3-4-1 青少年健全育成に関する啓発	青少年健全育成に向け、各団体・生徒などによる街頭キャンペーンを年2回実施します。 16年度 2回 21年度 社会環境の変化に伴い設定 17年度 2回					教育センター
3-4-2 街頭補導活動の推進	街頭補導活動等による青少年の問題行動の早期発見、及び未然防止に努めます。 16年度 30回 21年度 社会環境の変化に伴い設定 17年度 30回					教育センター
3-4-3 有害環境調査の実施	カラオケボックス、ゲームセンター、ビデオ販売店・書店等の実態調査を行います。 また、有害環境調査の結果を神奈川県で集約し、関係業界団体に改善を要請します。 16年度 1回 21年度 対象業種が増加すれば対応 17年度 1回					教育センター
3-4-4 学校と警察の連携の強化（再掲）	各学校と警察の連携により、学校・警察連絡協議会を設置し、不審者・変質者等の情報の連絡体制を整え、児童・生徒・学生の健全育成に努め、子どもを犯罪等の被害から守ります。 4-2-4参照					教育指導課